

# 科学プレゼンの技術学ぶ

玉野高、講師招き入門講座



井上教授（左）からプレゼンテーションのアドバイスを受ける玉野高1年生

している中部大（愛知に一人一人が発表し、  
県春日井市）の井上徳「内容がよくまとまっ  
ていた」などと批評を  
受けていた。

ジェスチャー、ボディ  
人工衛星をテーマに  
選んだ1年岡島隼斗さ  
アイコンタクトの4点  
ん(15)は「人工衛星が  
を挙げ「要点をワンセ  
暮らしにどう役立って  
ンテンスにまとめて伝  
いるかをうまく伝える  
えれば、聞き手は理解  
ことができた。教わっ  
しやすくなる」とアド  
たことは、大学受験の  
面接でも役立つそう」  
バイスした。

生徒は4人一組に分  
と話していた。

かれ、環境問題や情報  
同プログラムの支援  
技術、生命科学などに  
期間は最長3年で、  
関する本の中から、興  
JSTから年間最大49  
味のあるテーマを選  
万5千円の補助が受け  
られる。同高は17年度  
「ここがすごい」と思  
までの支援期間中、課  
う点などをまとめ、仲  
外授業などを通じて生  
間を相手に練習した。  
徒の「学ぶ意欲」向上  
最後はオプザーバー参  
をを目指す。

科学技術振興機構  
レゼンテーションの入  
(JST)の支援事業  
門講座が開かれ、1年  
「中高生の科学研究実  
生11人が聞き手に伝わ  
実践活動推進プログラ  
りやすい情報発信の技  
術を学んだ。

いる玉野高で23日、外  
講師は、科学技術の

部講師を招いた科学プ  
社会理解について研究

加した3年生19人を前

（正本和臣）

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。